

ご意見ありがとうございます

ありがとうございました

中富良野小学校

中富良野中学校

学校施設の老朽化対策

現在、基本設計策定中の中富良野小学校と中富良野中学校の学校施設の老朽化対策に6月7日から6月25日までの間、町内の皆さんからご意見を募集したところ9件のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

※ご意見は、掲載にあたりその内容を要約させていただきます。



No.	意見内容
⑦	不登校やメンタル不調になってしまう子どもに寄り添うカウンセリಂಗルームなどを検討してほしいです。男女を定義づけられない環境整備と雰囲気づくりもあると思っています。
⑥	校舎が出来ることを願います。 玄関入ってすぐの場所に図書室があるといいです。男女共有、誰でもトイレがあるといいです。中富良野町の子どもたちにとってよりよい校舎が出来るといいです。
⑤	校舎内で給食を作ってほしいです。 道産木材をふんだんに使うなど、この土地らしい材質の校舎がいいと思います。
④	魅力が大きいそうです。 自治体の移住が進んでいる理由として、「自校給食」を含めた学校の魅力が大きいそうです。
③	新聞その他で役場庁舎を高台移転するという記事を目にしました。森林公園は、以前子ども達でにぎわったこともあるのに、今はもったいない感じがします。主に災害に備えて森林公園ぐらゐの高台に建築してはどうでしょうか。
②	地元の食材を生かした、温かい状態で児童の口に入る、自校給食を希望します。地元の自然の豊かさを学べる建築資材を使った木のぬくもりを感じられるデザインを期待しています。
①	以前、メディアで近隣の小学校では、教室に壁がなくオープンな教育環境であるという内容を観ました。そのような成功例を参考に開かれた教育環境にするのがいいと思います。

なかふらのの未来へ

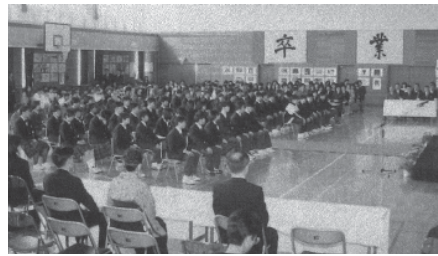
「つながる」学校づくり

No.2

第2話 「昭和から平成、

そして令和へ」

昭和の時代に建設され厳しい夏の暑さや冬の寒さ、風雪に耐え、老朽化が進む中においても、これまでに中富良野小学校で1千977人、中富良野中学校で2千970人の卒業生を送り出しました。



子どもたちの日々の学びを支えてきたそれぞれの校舎ですが、現在の第6期まちづくり総合計画の前の計画である平成の第5期まちづくり総合計画にも中富良野小学校と中富良野中学校の老朽化対策事業（当時は、改修事業として）は、計画されていきました。ただ、実際の老朽化の度合やほかの公共事業との兼ね合いから



実施を延期し、令和の第6期まちづくり総合計画へと、この事業は託されたのであります。

そして、待望の新校舎整備に向けて、令和元年12月、中富良野小学校と中富良野中学校の学校関係者10人（当時）で構成する「学校施設老朽化対策検討委員会」が設置されました。

【つづく】



<p>⑧ 給食の質の向上、「食」は未来への投資です。オーガニック給食！が理想ではありますが、まずは減農薬、無添加、地産地消を実現していただきたく考えています。周辺小規模校を自由教育校に変更し、町内児童は選択性としてはどうですか。自ら学ぶ姿勢を活かす教育を受けられる学校は、移住に繋がるPRポイントになり得ると考えます。</p>	<p>⑨ 少子化が続く中、小・中学校を同じ敷地内にして子ども同士が交流、切磋琢磨できるのはよいと思います。</p>
---	---

移動理科教室+（プラス）

が開催されました

7月7日、北海道立教育研究所主催の移動理科教室+（プラス）が行われました。児童の理数教育に関する興味関心を高めることを目的とし、町内の小学3年生から6年生を対象に行われました。液体窒素で身近にあるものを冷やし、物質の変化について学びました。

